

## 中津市防災講演会 ～荒ぶる自然災害から自らの身をまもるために～

### 1. 現状と課題

現在市では、地域防災力を高めるため、家庭での備蓄に対する取り組み、防災士協議会の設立、自主防災組織の組織化の推進等、自助・共助の取り組みに重点を置き、防災・減災に対する対策を進めてきており、住民の防災に対する意識も高まりつつあります。

しかし、依然として、災害時には、行政が全て対応してくれるという考えの方がまだまだ多くいることも現状です。

### 2. 講演会実施の目的

いつどこで発生するかわからない災害に対応するためには、まず自分の身を守り、自主防災組織や防災士などと協力し合って対応する、自助、共助の取組が重要となります。

今回、中津市では、はじめての取り組みとして、これまで多くの講演会で、“行政だけを頼ってでは自分たちの命を守ることは出来ない。”“想定にとらわれることなく、情報収集など最善を尽くして自らの意思で率先して避難行動をとるように”と訴え続け、「釜石の奇跡」を生んだ 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授の 片田 敏孝 氏を講師としてお招きし、中津市防災講演会を実施することで、住民の防災に対する意識改革を図ることとしました。

### 3. 講演会の内容

- ・日 時 平成31年1月14日（月・祝）14時00分から
- ・場 所 中津文化会館 大ホール
- ・演 題 「厳しさを増す災害に向かい合う」  
～今求められる主体的な自助・共助～
- ・入場料 無 料
- ・講 師 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター  
特任教授 片田 敏孝 氏

#### 【問合せ先】

防災危機管理課 担当：門脇、鳴  
(TEL：0979-22-1111・内線 271)

# 中津市防災講演会

～荒ぶる自然災害から

自らの身をまもるために～

日時 平成31年1月14日（月・祝）

14時00分から

場所 中津文化会館 大ホール

演題 「厳しさを増す災害に向かい合う」  
～今求められる主体的な自助・共助～

入場料 無 料

講師 かただ としたか 片田 敏孝 氏

東京大学大学院情報学環  
総合防災情報研究センター  
特任教授



## 【講師経歴】

1960年生まれ、岐阜県出身。

90年豊橋技術科学大学院博士課程修了、東海総合研究所研究員。91年岐阜大学工学部土木工学科助手、93年名古屋商科大学商学部専任講師、95年群馬大学工学部、建設工学科講師、97年助教授を経て2003年より教授。08年広域首都圏防災研究センター長、東京大学大学院、豊橋技術科学大学、静岡大学客員教授などを兼ねる。この間、京都大学防災研究所客員助教授、米国ワシントン大学客員研究員などを歴任。2017年4月より現職。